

校 歌

岩手 中 学校  
高等

校 歌

速めの行進曲風に

♩ = 120

土井 晩 翠 作詞

山田 耕 筈 作曲

あさひにおう さくらばな そのめだいちの ふかきよりいー  
 でー て つらー ぬく み かけ いー し さー  
 とのな どころ せいしゅんー の  
 いきをかたどるー うれしさよ いきをかたどるー うれしさよ



山田耕筈



土井晩翠

校歌

作詞 土井 晩翠  
作曲 山田 耕筈

- 一、 旭日におう 桜花  
其芽 大地の 深きより  
出でて 貫く 花崗石  
郷の 名所 青春の  
意気を かたどる うれしさよ
- 二、 見よ 金剛の 不壊の念  
神と 祖國と 人道の  
三つに 仕えて 怠らず  
日々に つとめて 光榮を  
期する 一同 若き友
- 三、 大沢川原 もとをおく  
わが中学の 同じ窓  
希望の光 身に浴びて  
心ひとしく すこやかに  
高き 遠きに あこがるる
- 四、 無言の さとし 朝夕に  
七千尺の 岩手山  
北上川の 八十里  
友よ 心の 日にも見て  
いさ 向上の道 踏まん

校歌の歌詞 昭和3年1月 2日 土井晩翠より届く  
校歌の曲譜 昭和3年1月23日 山田耕筈より届く

本校創立者三田義正は校歌作成する時に、土井晩翠先生に本校校風の三大綱領の重暉、積慶、養正をこの中に読み込むよう申し入れた。「暉」は神の威徳の表情であり、「慶」は祖国の余沢、「正」は正義で人道の根幹であることから、この思いを2番の「神と 祖國と 人道の」になった。